



2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所

東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 掬川 正純

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹生 昭彦

(TEL) 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	262,049	0.0	38,244	60.5	39,710	59.7	28,713	53.6	27,237	60.7	24,848	32.7
2019年12月期第3四半期	261,962	1.3	23,830	△9.1	24,862	△8.8	18,690	△20.7	16,950	△15.0	18,723	△16.8

(注) 事業利益 2020年12月期第3四半期 29,872百万円(26.7%) 2019年12月期第3四半期 23,583百万円(12.8%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	93.69	93.57
2019年12月期第3四半期	58.31	58.24

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	404,429	238,819	226,513	56.0
2019年12月期	380,701	221,201	208,421	54.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2020年12月期	—	11.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	355,000	2.2	41,500	39.1	27,000	31.3	92.88

(注) 1. 事業利益 通期 33,000百万円

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	299,115,346株	2019年12月期	299,115,346株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年12月期3Q	8,406,441株	2019年12月期	8,405,440株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	290,709,288株	2019年12月期3Q	290,693,899株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高2,620億4千9百万円（前年同期比0.0%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比0.9%増）、事業利益298億7千2百万円（前年同期比26.7%増）、営業利益382億4千4百万円（同60.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益272億3千7百万円（同60.7%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「L I V E計画（LION Value Evolution Plan）」の基本戦略である、「新価値創造による事業の拡張・進化」、「グローカライゼーションによる海外事業の成長加速」、「事業構造改革による経営基盤の強化」、「変革に向けたダイナミズムの創出」にもとづく施策を推進しています。

当第3四半期は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内外の事業活動に影響が生じましたが、当社グループは社会的責任を果たすべく、感染拡大の防止と従業員の安全確保に最大限努めるとともに、商品の供給継続に注力しました。

併せて、国内事業では主力ブランドで高付加価値の新製品を投入し、効率的なマーケティング施策等により育成を図るとともに、海外事業では洗濯用洗剤等のホームケア分野の収益性向上、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野の事業規模拡大に取り組みました。

なお、2020年2月28日に発表しましたとおり、同日付で本社の土地譲渡を行っております。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	262,049		261,962		86	0.0%
事業利益	29,872	11.4%	23,583	9.0%	6,288	26.7%
営業利益	38,244	14.6%	23,830	9.1%	14,414	60.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	27,237	10.4%	16,950	6.5%	10,287	60.7%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（事業利益）			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	179,971	176,046	3,924	2.2%	22,006	15,968	6,037	37.8%
産業用品事業	40,208	40,959	△750	△1.8%	1,431	1,177	253	21.6%
海外事業	76,715	77,506	△791	△1.0%	5,545	5,636	△91	△1.6%
その他	24,437	24,891	△454	△1.8%	1,491	949	541	57.0%
小計	321,332	319,404	1,928	0.6%	30,473	23,732	6,741	28.4%
調整額	△59,283	△57,441	△1,841	—	△601	△148	△453	—
合計	262,049	261,962	86	0.0%	29,872	23,583	6,288	26.7%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比2.2%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比37.8%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	179,971		176,046		3,924	2.2%
セグメント利益	22,006	12.2%	15,968	9.1%	6,037	37.8%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では11,587百万円、前第3四半期では11,458百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	47,535	47,558	△23	△0.0%
ビューティケア分野	24,430	17,218	7,211	41.9%
ファブリックケア分野	43,178	46,355	△3,177	△6.9%
リビングケア分野	17,383	14,565	2,817	19.3%
薬品分野	17,831	19,727	△1,895	△9.6%
その他の分野	29,612	30,620	△1,007	△3.3%

(オーラルケア分野)

ハミガキは、昨年発売した「システム ハグキプラス プレミアムハミガキ」がお客様のご好評をいただくとともに、“歯に蓄積した着色汚れによるくすみ”まで除去する「システム^{イーエックス} E X W ハミガキ」を新発売した「システム^{イーエックス} E X ハミガキ」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、昨年発売した「NONIO^{ノニオ} ハブラシ」が加わりましたが、「ビトイーン」や「システムハブラシ」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

デンタルリンスは、「NONIO^{ノニオ} マウスウォッシュ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が前年同期を大幅に上回るとともに、きちんと殺菌して、“うるおいバリア”が手肌を守る新製品「キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ボディソープは、「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、新配合の高密着成分(無水硫酸ナトリウム)により、こすれに強く、高い密着力を実現した新製品「Ban^{バン} 汗ブロック プラチナロールオン」がお客様のご好評をいただきましたが、「Ban^{バン} 汗ブロック 足用ジェル」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

柔軟剤は、主力の「ソフラン プレミアム消臭」、「ソフラン アロマリッチ」が競争激化の影響で前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

洗濯用洗剤は、昨年発売した液体高濃度洗剤「トップ スーパー^{ナノックス} ニオイ専用」がお客様のご好評をいただきましたが、液体洗剤「トップ クリアリキッド」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、「CHARMY^{チャーミー} Magica^{マジカ}」や食器洗い機専用洗剤「CHARMY^{チャーミー} クリスタ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

住居用洗剤は、銀イオン配合の新製品が加わった浴室用洗剤「ルックプラス バスタブクレンジング」や浴室用カビ防止剤「ルックプラス おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム D^{ディーエックス} X」が好調に推移するとともに、「スマイル40 メディクリア D^{ディーエックス} X」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

皮膚用薬は、かゆみに悩む方が、部位を手がかりに症状に適した薬を選びやすいようにした新製品「メソッド」シリーズを発売し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

ニキビ薬、足用冷却シートの売上は、訪日観光客数の減少により、前年同期を下回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が前年同期比微減となりましたが、オーラルケア用品が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「自動車分野」、2次電池用導電性カーボン等の「電気・電子分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比1.8%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比21.6%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	40,208		40,959		△750	△1.8%
セグメント利益	1,431	3.6%	1,177	2.9%	253	21.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では17,386百万円、前第3四半期では16,605百万円となっております。

自動車分野では、タイヤの防着剤や自動車部品用カーボンが前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

電気・電子分野では、機能性材料や導電性樹脂の需要が減少し、全体の売上は前年同期を下回りました。

業務用洗浄剤分野では、厨房向け消毒用アルコールやハンドソープが前年同期を大幅に上回りましたが、食器洗浄機用洗浄剤等が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期比微減となりました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比1.0%の減少（為替変動の影響を除いた実質前年同期比は2.2%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比1.6%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	76,715		77,506		△791	△1.0%
セグメント利益	5,545	7.2%	5,636	7.3%	△91	△1.6%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では8,040百万円、前第3四半期では6,987百万円となっております。

〔地域別売上状況〕

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
東南アジア	49,710	52,498	△2,788	△5.3%
北東アジア	27,004	25,008	1,996	8.0%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比5.3%の減少となりました。

タイでは、ハンドソープが好調に推移しましたが、洗濯用洗剤が前年同期を下回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤が市場縮小の影響等で前年同期を下回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比8.0%の増加となりました。

韓国では、ハンドソープが前年同期を大幅に上回りましたが、洗濯用洗剤や台所用洗剤等が前年同期

を下回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期を下回りました。

また、中国では、「システム」ハブブラシが好調に推移するとともに、ハンドソープや日本からの輸入品の販売が大幅に増加し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

<その他> (建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	24,437		24,891		△454	△1.8%
セグメント利益	1,491	6.1%	949	3.8%	541	57.0%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では22,257百万円、前第3四半期では22,416百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および資本の状況 (連結財政状態)

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増減
資産合計 (百万円)	404,429	380,701	23,727
資本合計 (百万円)	238,819	221,201	17,617
親会社所有者帰属持分比率 (%)	56.0	54.7	1.3

資産合計は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して237億2千7百万円増加し、4,044億2千9百万円となりました。資本合計は、176億1千7百万円増加し、2,388億1千9百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は56.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、2020年11月5日発表のとおり、前回予想(2020年7月31日発表)を修正しております。また、配当予想の修正も行っております。

詳細につきましては、発表資料「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(当期業績予想値算出の前提条件)

主要な為替レートは、108円/米ドル、3.5円/パーツとしています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	110,406	105,494
営業債権及びその他の債権	61,759	58,142
棚卸資産	43,555	49,141
その他の金融資産	4,024	8,048
その他の流動資産	2,750	3,284
流動資産合計	222,497	224,111
非流動資産		
有形固定資産	90,903	108,270
のれん	182	182
無形資産	13,485	16,000
使用権資産	5,940	5,442
持分法で会計処理されている 投資	9,165	9,965
繰延税金資産	2,577	4,860
退職給付に係る資産	9,597	9,527
その他の金融資産	25,517	24,930
その他の非流動資産	833	1,138
非流動資産合計	158,204	180,318
資産合計	380,701	404,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	116,268	116,360
借入金	1,404	1,394
未払法人所得税等	6,568	9,428
引当金	1,582	1,722
リース負債	1,495	1,480
その他の金融負債	739	474
その他の流動負債	7,659	9,123
流動負債合計	135,718	139,984
非流動負債		
借入金	889	732
繰延税金負債	873	684
退職給付に係る負債	12,091	14,415
引当金	357	355
リース負債	5,510	5,367
その他の金融負債	2,648	2,494
その他の非流動負債	1,411	1,577
非流動負債合計	23,781	25,625
負債合計	159,499	165,610
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,788	34,923
自己株式	△4,739	△4,742
その他の資本の構成要素	11,320	8,991
利益剰余金	132,619	152,906
親会社の所有者に帰属する 持分合計	208,421	226,513
非支配持分	12,780	12,306
資本合計	221,201	238,819
負債及び資本合計	380,701	404,429

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	261,962	262,049
売上原価	△132,448	△128,430
売上総利益	129,513	133,618
販売費及び一般管理費	△105,929	△103,746
その他の収益	1,121	11,945
その他の費用	△875	△3,572
営業利益	23,830	38,244
金融収益	506	535
金融費用	△152	△111
持分法による投資利益	677	1,041
税引前四半期利益	24,862	39,710
法人所得税費用	△6,171	△10,997
四半期利益	18,690	28,713
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,950	27,237
非支配持分	1,740	1,475
四半期利益	18,690	28,713
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	58.31	93.69
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	58.24	93.57

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	18,690	28,713
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	91	△253
確定給付型退職給付制度の再測定額	766	△1,245
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△43	△40
純損益に振り替えられることのない項目 合計	814	△1,539
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	8	—
在外営業活動体の換算差額	△761	△1,971
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△28	△353
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△781	△2,325
税引後その他の包括利益合計	32	△3,864
四半期包括利益	18,723	24,848
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,822	24,354
非支配持分	1,900	493
四半期包括利益	18,723	24,848

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2019年1月1日残高	34,433	34,715	△4,766	165	10,800	—
会計方針の変更による累積的影響額						
2019年1月1日残高(修正後)	34,433	34,715	△4,766	165	10,800	—
四半期利益						
その他の包括利益					78	766
四半期包括利益合計	—	—	—	—	78	766
配当金						
自己株式の取得			△2			
自己株式の処分		△7	29	△21		
株式報酬取引		61				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△434	△766
所有者との取引額等合計	—	53	27	△21	△434	△766
2019年9月30日残高	34,433	34,768	△4,738	143	10,444	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2019年1月1日残高	△8	△36	10,920	115,806	191,108	13,163	204,271	
会計方針の変更による累積的影響額			—	△94	△94	△0	△94	
2019年1月1日残高(修正後)	△8	△36	10,920	115,711	191,014	13,162	204,177	
四半期利益			—	16,950	16,950	1,740	18,690	
その他の包括利益	8	△981	△127		△127	160	32	
四半期包括利益合計	8	△981	△127	16,950	16,822	1,900	18,723	
配当金			—	△5,813	△5,813	△3,232	△9,045	
自己株式の取得			—		△2		△2	
自己株式の処分			△21		0		0	
株式報酬取引			—		61		61	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△1,200	1,200	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	△1,222	△4,612	△5,754	△3,232	△8,986	
2019年9月30日残高	△0	△1,017	9,569	128,049	202,082	11,831	213,914	

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2020年1月1日残高	34,433	34,788	△4,739	143	11,289	—
四半期利益						
その他の包括利益					△241	△1,245
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△241	△1,245
配当金						
自己株式の取得			△2			
自己株式の処分		0	0			
株式報酬取引		134				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△691	1,245
所有者との取引額等合計	—	134	△2	—	△691	1,245
2020年9月30日残高	34,433	34,923	△4,742	143	10,356	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2020年1月1日残高	—	△113	11,320	132,619	208,421	12,780	221,201	
四半期利益			—	27,237	27,237	1,475	28,713	
その他の包括利益		△1,395	△2,882		△2,882	△981	△3,864	
四半期包括利益合計	—	△1,395	△2,882	27,237	24,354	493	24,848	
配当金			—	△6,395	△6,395	△967	△7,363	
自己株式の取得			—		△2		△2	
自己株式の処分			—		0		0	
株式報酬取引			—		134		134	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			554	△554	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	554	△6,950	△6,263	△967	△7,231	
2020年9月30日残高	—	△1,508	8,991	152,906	226,513	12,306	238,819	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが、第1四半期連結会計期間より適用している主な基準書は、以下のとおりです。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第3号	企業結合	「事業」の定義の改善
IAS第1号 IAS第8号	財務諸表の表示 会計方針、会計上の見積りの変更 及び誤謬	「重要性がある」の定義を明確化
IFRS第9号 IFRS第7号	金融商品 金融商品：認識及び測定 金融商品：開示	IBOR改革によって引き起こされる不確実性の潜在的な影響を軽減するために、特定のヘッジ会計の要件を改訂

それぞれの経過規定に準拠して適用しており、上記の基準書の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部及び会社を基礎とした製品・サービス別及び地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社グループの報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品、機能的食品の製造販売及び売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、栄養ドリンク剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本及び海外諸地域に対する化学品原料、業務用品等の製造販売及び売買を行っております。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売及び売買を行っております。

④ その他

日本において当社の子会社が、主に当社グループの各事業に関連した事業を行っております。

(主要製品及びサービス)建設請負、不動産管理、人材派遣

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	164,588	24,353	70,519	2,475	261,936	25	261,962
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 1	11,458	16,605	6,987	22,416	57,467	△57,467	—
計	176,046	40,959	77,506	24,891	319,404	△57,441	261,962
事業利益	15,968	1,177	5,636	949	23,732	△148	23,583
その他の収益							1,121
その他の費用							△875
営業利益							23,830
金融収益							506
金融費用							△152
持分法による投資利益							677
税引前四半期利益							24,862

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額△148百万円は、主に内部取引消去額及び報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	129,513百万円
販売費及び一般管理費	△105,929百万円
事業利益	23,583百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	168,383	22,822	68,674	2,179	262,060	△11	262,049
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 1	11,587	17,386	8,040	22,257	59,272	△59,272	—
計	179,971	40,208	76,715	24,437	321,332	△59,283	262,049
事業利益	22,006	1,431	5,545	1,491	30,473	△601	29,872
その他の収益							11,945
その他の費用							△3,572
営業利益							38,244
金融収益							535
金融費用							△111
持分法による投資利益							1,041
税引前四半期利益							39,710

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額△601百万円は、主に内部取引消去額及び報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	133,618百万円
販売費及び一般管理費	△103,746百万円
事業利益	29,872百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。